

湯淺治郎 （1877-1931） キリスト教社會事業家。嘉永三年十月二十一日上野國
安中生れ。昭和七年六月七日歿（一八三〇—一九三二）。詩人湯淺半月の兄。
新島襄の影響で明治十一年キリスト教入信、安中教會を創立した。十
三年群馬縣議會議員、議長となり、のち同縣を最初の廢娼縣とする。
十六年同志社創立の財政的助勢、また植村政久、小崎弘道等と學友社
書店創業の参劃。二十二年教議院議員となるも、二十五年政界を退き、
同志社經營に参與、一方各地教會建設等にも盡力。

『湯淺治郎』（昭和七年九月十五日群馬・湯淺二郎編刊）がある。